

帝王学を志すリーダーのための
情報誌



2023年4月号

vol.19

HEIKA
no TATSU
丙辰

発行元：Mikoto, Inc.
211 East 43rd Street, #1103
New York, NY 10017
ny@mikoto-inc.com



みことTIMES



特集：現実離れた面白い体験

帝王学コラム
「学理を学ぶということ」

今月より五行の解説
が始まります

みことイベント
SCHEDULE

帝王学を志す
リーダーたちの
イベントのご案内

4月丙辰月
のポイント

ポイントを意識することで、
自然との調和、運気の流れを
感じてみてください

みことTIMES

2023年4月号

vol.19

HEIKA
no TATSU

丙辰

03 アドバイザリーサービスのご案内

・ マダムYumikoのつぶやき

～ 寄り添いの第一歩～

04 特集：現実離れした面白い体験

07 帝王学レポート

・ English phrases which give us
courage

・ 茶道と陰陽五行～竹繁～

08 ・カウンセラーから見える景色

～まだ無理です～

・ 淵泥（えんでい）のひとこと from 45th

～ファスト？それともスロー？～

09 ・マンダラと帝王学

・ World Scopes～Milano～

10 ・My Another Sky

11 みことイベントSchedule

12 コラム：学理を学ぶということ

2023年4月丙辰月 生き方のポイント

編集後記

PHOTO BY TAKAKO KAWANA

FEARLESS GIRL (恐れを知らない少女)

ウォール街に立つ身長127CMの女の子の像。2017年に設置され、幹部職への女性登用の促進のメッセージが込められています。

*元々は金融街で有名な雄牛の像CHARGING BULLと向かい合っていたので、それを期待していましたが、現在はニューヨーク証券取引所を見上げるような形に移動されていました。

みことTIMESでは
帝王学を通じて生き方・あり方を探究している同志が中心になって
グローバルな視点での情報やエッセイをお届けしています。
帝王学は、後悔なき人生を送るための人生の羅針盤です。
世界中、一人でも多くの人に知っていただき、
幸せを体感できる世界の実現を目指します。

みことTIMESは毎月1日にお届けいたします。お申し込みはこちらから
<https://mikoto-inc.com/tmail>



水性エッセイ **マダムYumikoのつぶやき**
～ 寄り添いの第一歩～

Posted by Yumiko Shito
エグゼクティブコーチ&アドバイザーとして、起業家、グローバル金融企業を経営しながら、ニューヨークと東京を往来しながら、組織（XO）向けに、エグゼクティブ・エデュケーションを展開している。
帝王学と出会い、この学びが世界に広がる地球平和につながることを願っている。



「異文化」についてお話しする機会をいただき、体験の記憶を辿っていました。「Minority means nothing in NY! (NYにおいてマイノリティであることは何でもない!)」昔見かけたNY市内にあった広告です。

国税調査局の調査によると、2023年現在でも、NY市では200以上の言語が話され、家で英語を話している人は51%、49%は他言語で話しているのだそうです。圧倒的な多様性、異文化が混在する街です。

そのような中では、目の前の人の背景、文化、宗教などを理解すること、少なくとも知ろうとすることは、その人へのリスペクトだと感じます。その上で、ですが、背景にある長い歴史の中で、個人の持つ感情を超えて、国の感情があることも感じます。

当時、ある国出身の友人（彼女自身はアメリカ生まれ）から、祖父母が祖国からきているので遊びに来ない？と誘われました。ところが翌日、バツが悪そうに、「祖父母にYumiの話をしたところ、日本人とは付き合うなと言われた」とのこと。その時の招待は無くなりました。友人関係は続きましたけどね。

またある友人が国際結婚をした時、本人たちには何の課題もないのに、出身国の歴史や周囲の人たちの感情に圧倒された、国際結婚とは出身国を背負うことだと感じた、と言っていました。

今世界は多くの情報が溢れていますが、長く深く根付いた国の感情も、私たち一人一人が関係性を築くことで書き込まれていったらいいなあ、と想いを馳せています。その一歩としても、まず目の前の人に寄り添う！ですね。

今日、あなたはどのようなご縁を紡ぎますか？

アドバイザーサービスのご案内

Strategy Advisory Service (ビジネス・人間関係 全般)

- こんなお悩みを解決します。
- 効果的な経営戦略を立てたい
 - 会社の攻めや守りのタイミングを知りたい
 - 社員の才能・資質を知り最強チームを作りたい
 - 効果的な人財育成の仕方を知りたい
 - 営業戦略を知りたい
 - 社内・外の人間関係を円滑にする方法を知りたい

初回の方に限り \$ 200 / 90分
2回目以降 \$ 150 / 60分

～帝王学を活かしたアドバイザーサービス～
ビジネス上の課題解決から
ご自身の才能資質やバイオリズムの活かし方まで
当スクールアドバイザーによるオンラインセッションです。

Know Yourself & Relationship (個人の才能資質+他者との関係性)

- こんなお悩みを解決します。
- 自分の強み・才能・課題を知りたい
 - 自分の人生のバイオリズムを知りたい
 - 子供の才能の開花のさせ方を知りたい
 - 上司からの信頼を獲得するためのアプローチの仕方を
知りたい
 - 家族との関係性をよりよくしたい
 - 結婚・引越など、自分と家族を含めた最良のタイミン
グを知りたい

1回目より \$ 100 / 50分

詳細はこちらから
<http://mikoto-inc.com/ads/>



特集 ★ 現実離れした面白い体験



この学問では、4月は辰月です。辰は十二支の中で唯一架空の動物です。
あなたの現実離れした面白い体験をシェアください

現実離れした面白い体験 #1 『お腹の窓より』

結婚して、新居に引越したてのころ、妹家族が遊びにきてくれました。4歳の姪っ子と1歳の甥っ子と3人で手を繋ぎながら、近くのスーパーにお菓子を買いに行くことに。途中、姪っ子が「あいは、赤ちゃんいないのに、なんで引越したん？」と言いました。私は自分のお腹を眺めながら、しばらく考えました。姪っ子が引越したタイミングが弟が生まれたときでした。だから赤ちゃんがいないのに引越した私を不思議に思ったようです。「そうかあ、赤ちゃんおるかもなあ。調べてみるわ」と答えました。スーパーでお菓子のついでに妊娠検査薬を買いました。母親のお腹のおへそは窓として、外が見れたり、外のこどもたちとやりとりできるそうです。お腹の子から姪っ子へのコミュニケーションが私に妊娠を気づかせてくれたのかな。のちに2人はあの世でも仲良しな関係（学問的には日干支が同じの律音）だったことがわかりました。

Posted by Ai Matsutani

現実離れした面白い体験 #2 『現実離れしているけどホントのお話し』

幼少時、たぶん4歳～5歳頃の父と銭湯での出来事です。父は夜勤のシフトなどがあり、あまり家にいませんが、たまの休みは自転車で一緒に少し遠い街に買物に行き、最後は銭湯に入って帰る、という休日行事がありました。もちろん家風呂はありますが「父親の後ろに乗って出かけて入る大きいお風呂」は幼い子どもにはちょっとしたイベントでした。当時の大阪、当時の男湯には背中や肩に絵のある人が入っていました。（つまり入れ墨）赤いお花やお魚は色鮮やかで見ているだけで楽しく、年齢に関係なく絵のある人は普通に見かけた気がします。父の知り合いにもいたような・・・ある時とてもキレイな大きな赤い花を発見し「お花～」と大声でペチンとハイタッチ。触られた本人はびっくり、でも一緒に笑ったような…前後の記憶はないけれどその瞬間は目に残っています。父はその後真っ青で平謝り？でしょうか。昔の銭湯でのおおらかな記憶でした。

Posted by Mariko Okabayashi

現実離れた面白い体験 #3 『夢の中へ』



不思議体験は色々ありますが夢に見た事の体現が海外での不思議体験の始まりでした。その昔ヨーロッパ各国をバックパックで旅行していた時に何処で見たか思い出せませんがブリュッセル駅で降り、坂を上がり大きな建物を過ぎた所で左に曲がりそこにあった八百屋でトマトを買ったところで目が覚めた夢があります。当時は宿泊費を抑えるためにパリを起点にドイツ、オランダ等を夜行列車で移動していたのですが、ある日有名な小便小僧を見に行こうとパリの北駅を出て翌朝ブリュッセル駅で降り、さっそうと外に出て歩き始め大きな建物が目に留まったとたん、ここは夢で見た所だ。この大きな建物の過ぎた所で左に曲がり八百屋でトマトを買ったんだなと思いつつ左に曲がるとそこには八百屋があり何故か夢と全く同じようにトマトを買い不思議と思いつつトマトをかじりながら歩いた事を鮮明に覚えています。何故夢と同じようにトマトを買ったのか今も謎のままです。

Posted by Fuminori Yokoyama

現実離れた面白い体験 #4 『火の玉を見た！』

祖父が他界した時の不思議な体験です。母方の祖父は高齢であったものの健康な人でしたが、ある日入浴中に容態が急変しそのまま帰らぬ人となりました。お通夜の日、私は所用で斎場から少し離れた場所へひとりで移動しました。用事を済ませ歩いて戻っていたその時、斎場の前に樹木があってその頂付近に火の玉が揺らいでいたのです。輪郭はおぼろげで1つのようにも2つのようにも見えます。なんとも優しく温かいような光を発していました。それから数週間後、何となく母に「実はお通夜の時に火の玉を見たんだけど」と伝えたところ「えっ・・私も見た」と言うのです！お互い本当にびっくりして何時頃？と確認するとなんと時間帯までも合致していました。母とは「おじいちゃんとは最期会えなかったけれど、きっと天国に行く前に姿を見せてくれたんだね」と深く共感しました（そこに科学的根拠はありません）。今思い出してもほっこりするような優しい気持ちに包まれます。

Posted by Yuko Mizoguchi

現実離れた面白い体験 #5 『乗っ取られて』

カリグラフィー作家をしていた時、デパートでの個展開催中にフラリと来た仏画氏の僧侶。ひよんな事から掛軸屏風作りを乞う事に。岐阜県の熊が出る程の山奥のアトリエに呼ばれた日。師匠の仏画に囲まれ準備中、勝手口からひょっこり覗き込む日本カモシカ。目が合い固まる私。ジワリじわり。小さく一歩ずつ近づいてくる。その時、師匠が戻られカモシカを見て『お前様、山の神に気に入られたな』と一言。その日以来、作風ががらり劇的に変わり海外にも作品を出すようになった。後に師匠曰く、『山で修行しとる山伏さんがカモシカに生まれ変わり、人間に伝えたい思いをお前に託し書かせたのだろう』私は寝食を惜しみ書き続けた。ある日、身体がバラバラになってしまう限界だ！そう感じ『もう私、書けない！筆を置く！』夜中にそう叫んだ。その時の個展を最後に書けなくなった。山の神さまは去った。要は私は乗っ取られてたわけですね。

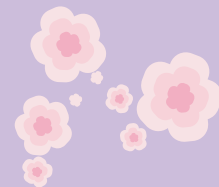
Posted by Ayumi Ogawa

現実離れた面白い体験 #6 『ヤバイヤバイを連呼』

面白い体験と言えるかはアレですが、長野・戸隠神社の奥社に行った時のこと。パワースポットとして特におすすめとされている中社・奥社・九頭竜社を参拝するため、まずは中社を参拝し、その後奥社に向かうため奥社入口に移動しました。奥社・九頭竜社は、入口にある大鳥居から40分ほど歩きます。鳥居からの参道はほぼ直線で、10月の高原の紅葉を楽しみながら進んでいくと、「隋神門」という、屋根が苔に覆われた趣のある赤門がありました。門の先には背の高い杉並木が続いているのが見えました。そしてその赤門をくぐった途端、空気が一変したのがわかり、別世界に入ったなと感じました。杉並木のパワーが強烈半端なくて、戸隠は霊山と呼ばれる場所なので山から降りて来るのでしょうか。冷気のような、変な感覚を感じていて、体のゾワゾワ感が止まらず、ずっと「ヤバイヤバイ」と連呼しながら山道を進んで行きました。そんなことを感じる場所は他にもありますが、戸隠は別格でした。

Posted by Asako Igarashi

現実離れた面白い体験 #7 『言葉にできないけど温かい気持ちになっていること』



桜の季節。桜は満開のときも散りゆくときもきれいですね。酒蔵には大きな桜の木があります。今年も見事に咲いてくれています。

それは、いまから数年前。桜が散りゆくときのことです。場所は酒蔵。少し曇っている、朝10時くらいのこと。駐車場近くの、建物と建物間の大きな広場で、ふと空を見上げると、桜の花びらの塊が空に浮いていました。縦が40cm、横が100cm。丁度長方形の箱のような状態で、高さは200cmくらいのところがありました。とてもきれいでした。何度もみたのですが、確かに桜の花びらの塊がそこにありました。夢を見ているのか？と思い始めたとき、風ではらはらと形がなくなり普通の花びらとなって地面に落ちました。思い出す度、見守ってくださっているんだという温かい気持ちになります。

Posted by Akiko Nakamura

特集：現実離れた面白い体験

現実離れした面白い体験 #8 『エネルギー渦巻く？』

非科学的なことをあまり信じてこなかった私はこの学問に出会い、色々と感じることがありました。陰陽五行論でいうと宿命が身強なので、そもそも感じるものが少なかったのかもしれませんが。（もしくは気づいていても鈍くて感じていることに気づかなかったのかも？）

そんな中でニューヨークに訪れる機会があり、街を色々と巡ってみることに。

初めてニューヨークに訪れた日は意気揚々と街を歩き、当時自分が行った海外の中ではすごく新鮮な空気だったのですが、ウォール街を歩いた時に違和感に気づきました。

なぜかその場所だけ、立っているのがやっとのくらい、身体全体がふわふわして、頭がクラクラするような感覚。

本当に強いエネルギーにあてられている。

その場所を過ぎるといつも通りだったのですが、世界経済の中心地は色んなエネルギーが渦巻いているのかも？後にも先にもあの感覚は他では味わえてないので、非常に稀有な体験でした。

Posted by Ayaka Ikeda

現実離れした面白い体験 #9 『ゆく者の思い』

4つ上の兄が急逝したのは2013年4月でしたからちょうど10年になります。大学卒業後実家を離れたので兄と会う機会は限られていたし、男兄弟ですから電話で話すこともほとんどありませんでしたが、帰省して一緒に飲むのが楽しみでした。辛いできごとは思いがけずやってきます。

告別式で、私は短いお念珠を手に兄の棺のそばに座っていたのですが、何もしていないのにそのお念珠のひもがぱん！と切れて珠が飛び散りました。不思議でした。珠は全て拾って兄のそばに納めました。

家に帰って、兄の子供二人を真ん中に従妹が集まって写真を撮りました。その写真には上方から美しい光が何筋もきらきらと差し込んでいました。「ずっと見守っているぞ！」という声が聞こえてきそうでした。

四苦といわれる「生老病死」。人の生き死には避けられず、人生という道は突然に途切れてしまうことがあります。「一日一生（いちじついっしょう）」の教えの大切さを改めて思います。

Posted by Hank Iwasa

現実離れした面白い体験 #10 『現実離れした「縁起」』

この学問で言われる『縁起』そして今世の課題を自ら選んで生まれてくる現象を、私は妊娠出産を通じてリアルに体験してきました。

初めて妊娠して4ヶ月目から胎教というものに通っていました。それはとにかく『親子の絆づくり』つまりは胎内に想いを馳せるトレーニング。まずイメージすることから始まり、感じるままにただ受容する、そして言葉にして伝えることの繰り返し。最初は漠然とイメージしていただけなのに、数ヶ月後気付けばリアルに胎児が寝てるとか起きたとか、お腹が張る前に予感がしたり、胎内状況が手に取るようにわかるようになりました。

そして誕生後、三兄弟とも2歳の頃には鮮明な胎内記憶があって、本当は兄弟の順番が違っていた話や、魂時代からお互い繋がっていたという同じ話しを三人とも3歳の頃にしてくれました。諸々、現実離れしすぎてあまり人に話したこともなかったのですが、この学問に出会ってすべての辻褄が合いました。

Posted by Satomi Sugawara

特集：現実離れした面白い体験

特集を総括して～窓は開かれた～

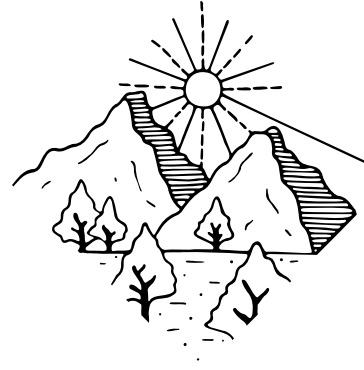
現実世界から少し離れた体験を振り返ると、新しい景色を見せてくれる窓のように感じました。まだ外に出ていなくとも、『窓の外は広い』と知ることはできます。新しい視点で物事を捉えることは球体思考ではとても大切です。窓の外へどうアプローチするかは自分次第ですね。

編集部からのお知らせ：あなたもエッセイを投稿してみませんか？

5月号の特集テーマは、5月＝丁巳月にちなんだテーマです。芸術性が出て、心がメラメラ熱く燃えている状態です。さて、「あなたの『夢中』は、何ですか？」です。（4/15締切）①ご氏名、②タイトル、③エッセイ本文（400字以内）をny@mikoto-inc.comまでお送りください。

帝王学レポート

REPORT



みことTIMESは、帝王学を志すグローバルリーダーたち中心の活動や実践していること、また、講座修了生コミュニティの中で学びを深めている実践者による情報誌です。ここからは、実践者に投稿いただいた、連載コーナーをお届けします。

連載

ENGLISH PHRASES WHICH GIVE US COURAGE

Posted by Yoko Miyamoto

土曜日の朝にNYスクール修了生を中心に集まって「英語で寄り添う会」を開催しています。帝王学の教えに基づき、相手に「寄り添う」事を最優先させた英語の言葉の選び方や言い回しを共有しています。過去がどうであれ、今この瞬間の意識・あり方が今の縁・人間関係を生んでいることを学びます。

「帝王学」の教えより

<The current way of being attracts relationships>

Which school you went to or who you worked for is only a part of the relationships you have, and they cannot be used as a scale to determine the person's competency. No matter what the past is, a competent person will be competent, and an incompetent person will be incompetent.

How the person is judged is based on one's way of being at the present moment. How one is at the current moment generates an attractive force which creates the appropriate relationship suitable for the moment.

<今の在り方が縁を引き寄せる>

学歴や職歴は一つの縁でしかなく、それで人材の有能無能さを図ることは出来ない。過去がどうであれ、ダメな者はダメだし、出来る者は出来るのだ。その人がどうであるかは、今の在り方で決まる。この瞬間の在り方で引力が発生し、複数の縁を引き寄せるようになるからだ。



連載

茶道と陰陽五行 - 竹槩 -

by Eriko Yamamoto



茶道では、秋から冬の夜長を楽しむ「夜咄(よばなし)」の茶事というものがあります。日が暮れる頃から、約4時間かけて、茶懐石料理やお茶とお菓子をいただく、正式な茶会になります。

日が沈んだ頃から行われるので、暗いのですが、電気は使いません。夜咄で使われる灯りの一つに、竹槩(ちくけい)というものがあります。竹筒の上に、器を置き、灯芯を油に浸し、火を灯して、灯りとして使用します。灯芯は、複数本使用しますが、満月の時は多く、月が欠けている時は、月の明かりを邪魔しないように、少なくするのだそうです。現代の感覚だと、月の明かりが弱いときは、暗いから、たくさん火を灯しそうですが、昔の人は、そのように考えたのだそうです。おくゆかしいというか、自然に調和した考え方をしていたのだと思います。今の時代にも必要な考え方ではないかと思いました。

連載エッセイ

カウンセラーから見える景色

～まだ無理です～



Posted by Mayu Itani@Tokyo

心理カウンセラー／キャリアカウンセラー

ひとりひとりの「その人だけが歩く道」を一緒に探す時間を提供しています。

陰陽五行論が、よりクライアント様ご自身の人生の意味を色濃くするものになると実感しています。

カウンセリングは、自分のことを見ていくプロセスをたどりますが、たどっていくことで、「だからうまくいかなかったんだ！」という“つまずき”に気づきます。さて、そこから「これからの人生をどうしていくか」というテーマに変わりますが、よく言われるのが

【まだ無理です】

【まだできません】というお言葉。

だいたいお年を重ねた方からも、そのお言葉をいただくことがあり、失礼ながら驚いてしまいます。「今日が人生の中で一番若い日」でもありますが、同時に「今日が一番余命の残されている日」とも言えると思うのです。

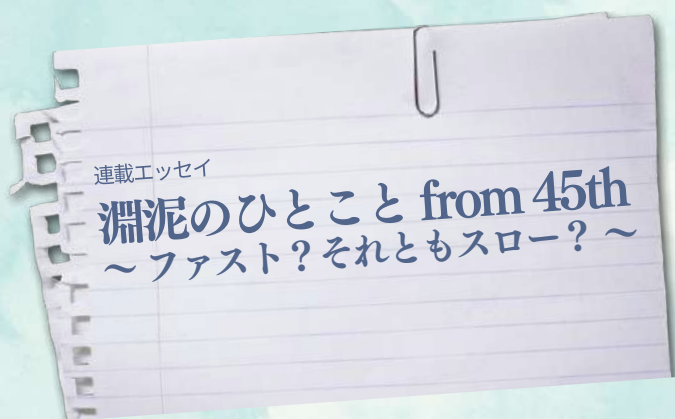
できたら、一歩前に進んだ人生を、一分一秒でも多く過ごしていけたらなあ…。もちろん、その方ご自身のペースで進んでいけるようなアシストをするのですが、

【まだ無理です】

【まだできません】という言葉は、その行動を止めてしまうようです。

もしそんな風に思っていらっしゃることがありましたら、ぜひその制約を外して

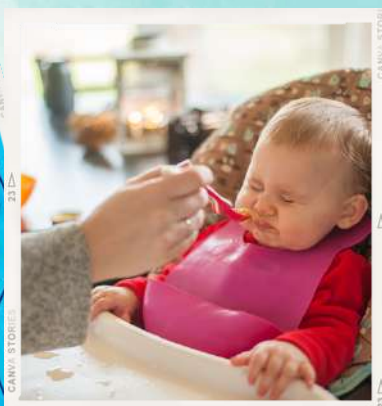
【まだ無理だと思うけれど、ちょっとだけやってみよう】と進んでいただけたら嬉しいです。そんな小さな行動を作るだけで、わざわざカウンセリングに時間とお金を費やす必要がない方も出てくると思っています(それでは商売になりませんが(笑))。



連載エッセイ

淵泥のひとこと from 45th

～ファスト?それともスロー?～



ノーベル賞受賞の行動経済学者ダニエル・カーネマンの名著「ファスト&スロー」。大意は、人の脳には二つのシステムがある。第一脳は何か遭遇した時にパッと反応する咄嗟の働き。第二脳はじっくり考えて、それから対応する働き。第一脳は何万年という人間の経験が作り上げた反応で、例えば、猛獣に出会った時に第二脳を働かせていると命が危ないので、第一脳の「逃げろ」という指令に従う方がよい(命を失う危険性が低くなる)。

ただ、第一脳は瞬時に出る条件反射的思考なので、簡単な経験豊富なことにはだいたい正しい答えを出すのが、自信満々な割には間違っていることもままある。これに対して、第二脳は時間をかけて検討するのでよりよい答えに行きつく可能性が高い。ただ、エネルギーをたくさん消費するし頻繁には使いたくない。できれば第一脳が出した答えに「OK」と言って済ませたいという傾向があるようです。

人は何かあった時に咄嗟に反応します。何か言われた時、何かをされた時に意識せずに言葉が出る、体が動くという経験は皆さんも持ちではないでしょうか。そして、「もうちょっと考えてから反応すればよかった」と思われたことも。

帝王学はいつも私たちの咄嗟の反応にチャレンジしてきます。「本当に大切なこと何なのか?」「その考え方は本質を突いているか?」「長期的な視点でそれがベストか?」などなど。現代は猛獣に襲われるような瞬間は我々の祖先より遙かに少なくなっています。しかし、毎瞬のちょっとした発言、行動の違い、その積み重ねが大きな差を生み出していく。帝王学、第二システムを意識できればいいですね。

あなたはファスト?それともスロー?どちらを意識していきますか?

Posted by Hank Iwasa

大手機械メーカー勤務。大規模な開発プロジェクトに参画し、直近5年は米国オペレーションのヘッドを務める。8年前から陰陽五行論を学び始めてその奥深さに感銘を受け、学びを仕事に活かす一方、宿命鑑定師として人々の悩みや苦しみに寄り添う活動を続けている。4月、日本に帰国。

マンダラと帝王学

～水性レポート～

Posted by Sayaka Yamaguchi

ナレーター・ファシリテーター・イベントプランナー・プロジェクトコーディネーター・コミュニティマネージャー。NICE日本国際ワークキャンプセンター理事。キャリアデザイン学修士。渡航国数23カ国、各地でNGO活動に取り組んできた。陰陽五行論の学びを社会課題への取り組みに生かすべく活動をスタート。

・マンダラ読書会・絵本編
毎月一回、グローバルコミュニティでマンダラ読書会を開催させていたいただいています。今月からは、毎回異なる一冊の絵本を取り上げ、陰陽五行・帝王学の観点から対話を深める会となります。

・今月の一冊『Under Earth, Under Water』

この本も先月と同じく、子ども英語講師を志望されているある方に紹介されたものでした。大型地図絵本と呼ばれるタイプの絵本で、二〇一四年々に話題になった『MAPS』と同じ作者による著作です。こちら、夫婦で制作されているということは今回始めて知りました。

・図鑑を手元においておくこと
身の回りに必要なものだけをおいておく、ミニマルな暮らしが理想とされる現代ですが、生活に絶対に必要かどうかはわからなくても自宅に置いておきたいのが図鑑。今月の課題図書は、イラストも文章もごちゃごちゃ

所狭しと詰め込まれていて、何度本を開いても新たな発見がありました。もちろん、絵本の中の文章では情報は十分ではないと感じる箇所もありましたが、これは入門書と割り切ると、興味のあるテーマを探る絶好の素材であるとも言えることができます。興味関心のあるテーマが見つかったあとは、図書館？ネット検索？各自の方法で更に時間を費やすこととなります。

■大型絵本と一般にいうと、通常サイズの絵本を大きく拡大された特別版の絵本というイメージがあります。こちらは、大人数を対象に読みたい間かせなどを行うために重宝される本となります。ですが、今回とりあげたのは大型図鑑だったため、また別のジャンルの本ということになります。

■今回取り上げることができなかった、新たなテーマ、「洋書」の魅力については、また次回以降に取り上げていけたらと思っています。

■今回は、『フォックスおくさまのむこえらび』を取り上げ、陰陽五行の読書会を計画しています。こちらは、オープンイベントですので、どなたでも気軽にご参加いただければ幸いです。あなたのご参加をお待ちしています。

情報量の多さ	手軽ではない分、開くと世界観が広がる	ジャケット買い	大人も知らないことばかり	部屋に飾ってもおしゃれ	シニカルな視点			
簡単に持ち運べない	巨大本	カラフル	ビジュアル	線画	赤い「アンダーアース」の表紙から始まるのは地面の下の世界	楽しい	青い「アンダーウォーター」の表紙から始まるのは、水の中の色々	
本を開いたら、両面にびっしりイラストと文字	38cm×28cm	大胆なデフォルメ	縦開きで地中・水中の深さを表現	ポップ	一つのテーマは見開き2ページ	真ん中のページ「地球の核」でつながっている	知らなかった世界に触れる	
		巨大本	ビジュアル	楽しみ方	作者夫婦のファン	「これを伝えたい」熱が伝わる	子どもたちの好奇心を刺激したい	
絵本「地下100かいたてのいえ」	対比	水中と地中	対比	3/6 Under Earth, Under Water	作者研究 Aleksandra and Daniel Mizielinski	ポーランドの絵本作家夫婦フルシャワ任任	「ネットでもどんな情報にもすぐアクセスできるけど、好奇心がなければ調べようという気にならない。」	
同作者「MAPS」		キーワード	水中	地中	ともに1982年生まれ	イラストレーターグラフィックデザイナーウェブデザイナー	『マップス 新・世界図鑑』は世界中で人気、300万部突破	
見えないものが見える地図絵本	うんちくの宝庫	図鑑は身近か？	未発見沈没船の数の多さに驚き	世界のほとんどは水中だ！	むかしていつのこと？		深い穴が突然できる現象	
これまでに見たことのない足元の世界	キーワード	地球科学の入門書	自然界：生物、深海の生物、巨大生物	水中	むかしの潜水服	自然界：虫や動物、木の根、一番深い洞窟	地中	動くジグソーパズル
地球と人間	生物と人間	年齢を問わない	技術：潜水艦、油田、マリアナ海溝調査			技術：水道管、地下鉄、トンネル、炭鉱		

World Scopes

Milano: Posted by Noriko Makino Villanti

帝王学 for Leadersのコミュニティには、世界各国に在住するメンバーが所属しています。このコーナーでは各国のレポーターから、トレンド情報や文化の違いなどをお届けします。

ミラノの日曜日。皆様、日曜日は何をされますか？ ゆっくり寝て疲れをとる。運動に行く、色々な方がいらっしゃると思いますが、私のお気に入りマーケットに行くこと！

食べるのが大好きな私にとって、旬の食材に触れることはとても大切。

近所の市場が週一度、日曜日に開くのですが、そのマウロさんのところはお野菜も果物もピカイチ！そして、何よりも気さくなイタリア人らしい彼の人柄が大好きで「野菜とフルーツはマウロさんから」と決めているのです。近所のカフェでカプチーノの朝ごはんをすませて彼に会いに行くのが私の理想の日曜日。

さて、マーケットで「春だな」と思うのはそら豆を見つけた時。こちらでは、ペコリーノチーズと一緒になんと「生の」そら豆を食べます。

そしてプンタレッレ。オリーブオイルにアンチョビ、ガーリックとビネガーを混ぜたドレッシングでいただきます。どちらもほんのり「苦味」のある春野菜。

皆様はどんな週末がお好きですか？





My Another Sky

リレーエッセイ

このコーナーでは、帝王学を志すリーダーたちの「大切な空」をリレー形式で紹介いたします。初めて見るようであり、どこか懐かしい。胸がなんだか熱くなるような、そんな風景を切り取ります。

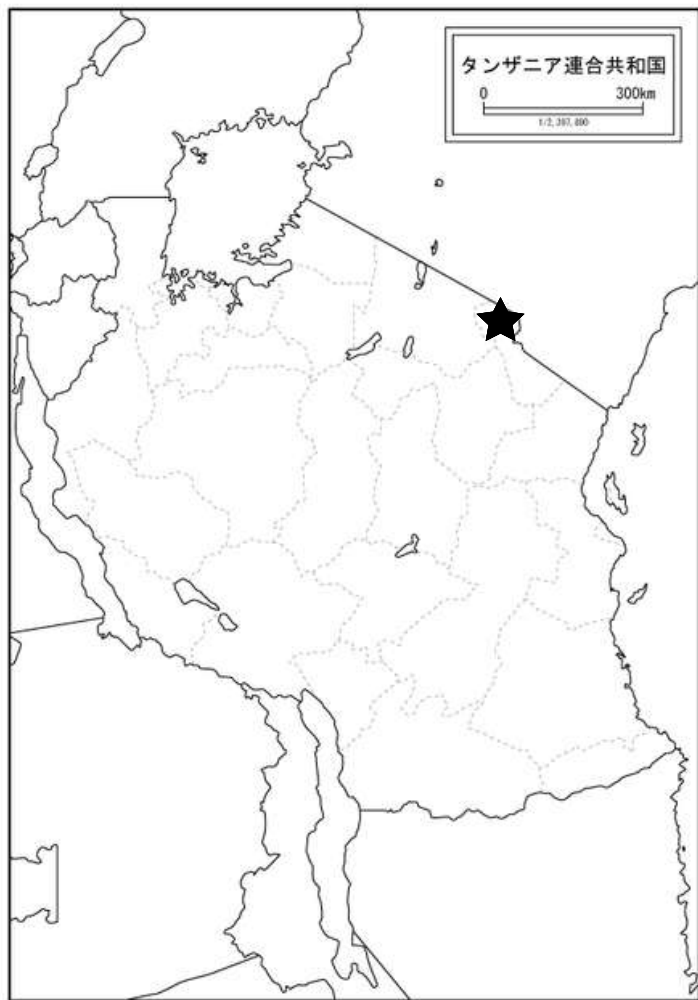
冒険譚が好きで、8歳でアフリカ縦断旅行記に胸躍らせた私は、それから30年を過ぎて、やっとアフリカの地に立った。「くねばならぬ」が正義の会社員生活で、成果を追い求めて心身ともに限界を感じたある日、「よし、アフリカ行こう」と思い立ち、縁あってタンザニアに行くことにしたのだった。

初めてのタンザニアは、なぜか懐かしい感じがした。匂いも、光も、広がる大地も、知っている気がした。暖かな風は、キリマンジャロ山の雪解けを見て、インパラの耳をくすぐり、ライオンのたてがみを揺らし、マサイの歌を聴き、子どもたちと戯れ、マーケットの雑踏と喧騒をくぐり、乾いた大地を抜けて、今、私の頬を撫でている。

ああ、私は、あたたかくて弱くて小さく呼吸をしている、一つの生きものだ。全ての生きとし生けるものと同じで、何者でもないし、何者にもならない。ただ、ここに在る。ふっと体がなくなるような、風にもなれるような気がした。

By Chihō Hashimoto

私のアナザースカイ タンザニア





みことイベント Schedule

2023
Apr. 4月

帝王学スクール for Leaders 修了生向けの「継続的な学びの実践」イベント（全てオンライン開催）

※日時の上段：ニューヨーク時間 下段：日本時間

日 16

20:00-21:00 EST

月 17

9:00-10:00 JST

五徳 悪心磨き部屋 By Ayumi Ogawa

五徳～仁義礼智信～を磨く為に日々皆さま研磨しながら過ごしていらっしゃると思います。たった5文字ですが、生活に落とし込み真っ当な五徳の生き方でできますか？私達人間が共生共存共栄する中で色々あるのが人生。分かっちゃいるけどやめられない、わかっちゃいるけど時々キレる愚痴る、なんて悪心が出ちゃったら、その悪心はどう研磨して五徳に転換していくか！一人でモヤモヤせずに皆さんで解決していきましょう！

火 4

7:30-8:30 EST

火 4

20:30-21:30 JST

マンダラ読書会 By Sayaka Yamaguchi

9×9マスのチャートに項目を当てはめながら、一冊の本をじっくり味わう読書会です。オンライン上で文字入力作業を行いますので、PCからのご参加を推奨します。またこの会は、オープンイベントですので、ご興味をお持ちの方、どなたでもご参加可能です。テーマ書籍は『にんじんのたね』ルース・クラウス/作クロケット・ジョンソン/絵です。本は事前に読んできていただく必要はありません。集まったその場でワイワイ話しながら内容を深めましょう。

月 24

7:30-8:30 EST

月 24

20:30-21:30 JST

あつまれ！みことも！編集キャンプ♪ By Ai Matsutani

ご購入・ご投稿くださる皆さんの生の声をお聞かせいただける機会を作りたいという想いから、編集会議を編集キャンプに見立て、オープン対話会を実施いたします。焚き火を見ながら、食べたいものを1つご用意いただき、みことTIMESを肴に、火の熱さにも負けないほど熱く語りませんか？コミュニティマガジンを発行するプロセスが知りたい方は、実際に編集体験をしていただければ幸いです。（専用ZoomURLにて開催）

金 14

8:00-9:00 EST

金 14

21:00-22:00 JST

未来フェス -5分間スピーチのお祭り- By Ai Matsutani

『丙辰』といえば『53番、大輪(たいりん)。六秀。春の太陽。午前8時～10時の勢いのある太陽。信じて傷つくぐらいなら、傷つかないために信じないでおこうとすると人生がうまくいかない。特に、結婚、恋愛は課題。頭の回転が早い人。晩年期運』これらから連想されるトピックでもなんでもOKです。聞くだけ参加もお気軽にどうぞ。エントリーシートにご表明の上ご参加ください。同じ学びの仲間のオープンイベントです。（専用ZoomURLにて開催）

金 14, 21

18:30-19:30 EST

土 15, 22

7:30-8:30 JST

英語で寄り添う会 By Eriko Yamamoto

日本時間、土曜日の7時半から開催しています。一昨年9月から、より英語で寄り添えるように「宿命鑑定が英語で出来る」を目標にできたらいいなと思っております。お題として宿命鑑定の例を事前にお知らせしますので、自分だったらこんな風にお話するかなと考えていただければと思います。

金 7, 14

19:40-20:20 EST

土 8, 15

8:40-9:20 JST

リラックス腸活ヨガ By Yoko Miyamoto

ヨガの呼吸法を取り入れながら腸のマッサージを行い、腸本来の機能を高める事を目的としたクラスです。ヨガの難しいポーズなどはありませんので、ヨガ未経験の方もお気軽にご参加ください（動きやすい服装、床が痛くない環境）。このクラスは、皆様のご家族・ご友人もご参加可能です。（専用ZoomURLにて開催）詳しくは、Slack内「金性_体を動かす」チャンネルをご覧ください。

土 1, 22

20:00-22:00 EST

日 2, 23

9:00-11:00 JST

研鑽会 -六十花甲子の世界- By Hank Iwasa

陰陽五行論の基礎をなす六十花甲子をひとつずつ学んでいきます。大切な季節感、方向感も見ながら干支それぞれの特徴を確認し、宿命事例も出して語り合っ、和気あいあいとした雰囲気の中で六十花甲子を学びつつ、関連する学理の話も適宜織り混ぜていく予定です。4月は「癸」の付く干支を中心に学んでいきます。ご一緒できることを楽しみにしています。

▼イベントの参加方法（原則、予約不要・無料）

【帝王学スクール修了生の方】「帝王学スクール for Global Leaders」Slackに案内されるイベント用のZoom URLよりご参加ください。

【帝王学を学んでいる方・学んだ方】

みことTIMESの定期配信メールに記載のZoom URLよりご参加ください。定期配信のご登録はこちら。https://mikoto-inc.com/tmail/

※Googleカレンダーをお使いの方：

みことイベントScheduleおよびZoom URLを記載したカレンダーを用意しています。編集部松谷までお気軽にご連絡ください。



コラム：学理を学ぶということ

By Nobuyuki Shinkai

あなたは学問を勉強することは好きですか？

私はどちらかという苦手です。しかし興味を持った事柄を学ぶのは大好きです。

そんな私のはまっている帝王学は、一生懸命学ぶほどに、どんどん他人に寄り添えるようになる学問だと思っています。いつも新しい気づきや発見を与えてくれるからです。

おかげ様で4年目を迎える現在は、培った知識を活かし、人様を鑑定させて頂く機会をたくさんいただいています。鑑定といっても、私は人を見抜くなんて大それたことはできません。何かオーラのなものが見えるわけでもありません。私が人と接していく上でヒントにさせて頂いているのが、一つに「陰陽五行論」、康仁塾の中でいう「学理」の部分です。

どんな内容なのかというと、この世の中には「陰と陽」があり、「木・火・土・金・水」という5つの元素があるというのが陰陽五行論です。

学理を学び始めると、こんな形でスタートからいきなり学生時代には習わない、いわゆる“一般通念”とは異なるものの見方を教わります。人によっては天動説が地動説に覆るくらいの転換ではないでしょうか？何も知らなかった私は、最初とても衝撃が走ったことを覚えています。

しかしそれを知る以前は、どんどん出てくる新しい価値観や常識の中で、翻弄されていたなと感じます。一方で、勉強していく中で、陰陽五行の歴史を知り、中身を知ると、昔から今に至るまで普遍的な事柄もたくさんあるのだと気づかされました。今はそれが人に寄り添う上でヒントになっていて、現在私が学理をととても好きな理由です。

私にとっての学理とはどこにいてもぶれない軸を作ってくれるもの。あなたにとっての学理はいかがでしょうか？



みことTIMES感想フォーム

「みことTIMES」のご感想をぜひこちらまでお寄せください！

無料とは思えないほど質の高いコンテンツで、毎月とても楽しみに拝読しています。



(Hさん・東京都)

編集後記：
いつもみことTIMESをお読みいただきありがとうございます。編集部
宮本陽子です。
1月は「行ってしまう」、2月は「逃げてしまう」、3月は「去ってしま
う」、と子供の頃から両親に言われ、年明けは時間の流れが特に早いこ
とを意識していました。ここ最近では年明けだけでなく、一年中常に時が早
く過ぎ去っていると感じます。帝王学の教えを守り「今この瞬間に集中し
て、一所懸命に生きていく」結果、時間の経過が早いと感じるのだとす
ると嬉しいと思いつながら、それにしてもあつという間に一年が過ぎてしま
います。生命の歴史から見ると一人の人間の生きていく時間はとても短い
です。その時間をどのように使うのか、みことTIMESでそのヒントを見つけ
ていただけましたら幸いです。
ぜひ皆様の想いをお聞かせください。これからもどうぞ宜しくお願い
いたします。

編集部（五十音順）… 赤石京子、五十嵐麻子、小川亜由美、松谷愛、
宮本陽子、山口紗矢佳、山本えりこ

2023年4月 丙辰月 生き方のポイント

陰陽五行では、4月4日(火)~5月5日(金)の1ヶ月を丙辰(へいかのたつ)月と呼びます。丙辰を細かく見てみると以下ようになります。

丙(へいか) = 太陽
辰(たつ) = 4月、晩春

丙は太陽を表し、辰は晩春の山岳を表します。春の山岳は豊かで、辰は水気も含む土性であり、水性の聡明さも兼ね備えたバランスの良い干支となります。また、辰は時刻でいうと午前8時から10時になり、丙辰は日が昇り太陽の勢いが増すときです。強く温かなところが長所ですが、勢いのまま行動をすることで時には周囲と対立してしまうことも。葛藤もありますが、夢や目標を持ち生きること新たなチャンスが巡ってくることも少なくありません。自分の夢や人生の目的を改めて内省しながら過ごしてみたいかがでしょうか？

- 丙辰のポイント
- ◆温かな人間性を活かし、他者へ接すること
 - ◆夢や希望をしっかりと持つこと
 - ◆不信心を抱いても人を信じること

陰陽五行は自然の事象を元に考えられています。ポイントを意識することで、自然との調和、運気の流れを感じてみてください。皆さまの日々が豊かなものとなりますように。